

1. 目指す子どもの姿 * 令和4年度までの願いを継続していきます。

目指す子どもの姿

地域を担う子

日吉を知り 日吉から学び 日吉のことを考え 行動できる子

～日吉のもつ良さを生かして子どもを育てる～

子どもたちは、日吉のことが好きで、その理由もそれぞれしっかりと捉えることができます。また、日吉の素晴らしさも実感しています。

【令和4年度松アンケート結果より】

令和4年度、コロナ禍にありながらも、コミュニティ・スクールとして子どもたちに日吉のよさを伝えたり日吉のよさを実感できたりする取組を進めてきた賜物であると捉えることができます。

ただ、コロナ禍で中止が続いている地域行事もあり、3年間『ふるさとについて理解を深める学習や参加しての体験』が十分にできていない、まだ日吉のよさについて知らないことが多いという状況にもあります。

令和5年度は、日吉のもつ良さを知ること、肌で感ずること、学ぶこと、考えることを着実に積み上げていけるように取組を進めていくことが、地域のことを想い、地域を担う子の具現に繋がると考えます。

2 基本的な構え * 令和4年度までの取り組み方を継続していきます。

◎負担を感じるような組織、運営にしない。学校、家庭、地域のどこも過重負担とならないことを第一とする。そのために、一方通行の取組にすることなく、常に双方向になっていることを確認しながら進める。また、子どもに軸足を置き、よりよい成長に向けて、様々な立場からの見方・考え方を提案していく。その際、まずは、新たな活動を生み出していくことより、今までの活動を見直し、工夫改善を加えていくことに重点を置く。

(価値ある活動が継続されている。・・・日吉の良さを生かす。)

○運営協議会組織の一員として活動して良かった、有意義な活動を行うことができた、という思いがもてることを目指す。

○「こどもサミット」は、お題の内容を変えながら、継続して実施していく。

◇新型コロナウイルス感染予防対策をとりながらできる取組を再開していく。